



本村幼稚園 2月の園だより

令和5年1月31日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

1年間の集大成「生活発表会」 子供たちの成長はいかに

園長 山村 登洋



大寒が過ぎ、連日厳しい寒さが続いています。しかし、子どもたちは、そんな寒さなどもろともせず、熱く燃えています。なぜでしょうか？
そうです、3学期、いや1年の成長を保護者、地域の皆様にご覧いただく「生活発表会」に向けて熱く熱く燃えているからです。今年度の「生活発表会」は2月4日（土）に開催します。本園としても初めての異年齢保育での発表となりますし、りす、はと組合同で発表していきます。

私たちは一つ心配していたことがありました。それは異年齢のバランスです。りす組の子どもたちがはと組に遠慮して、何も言えないとか、はと組の子どもたちがりす組に強くあたってしまうのではないかなどです。でも、そんな心配を余所に実に楽しそうに協働的に物事を進めている子どもたちの姿がありました。劇は、ほぼ子どもたちのオリジナル作品です。教師の援助はあるものの話し合いの時には異年齢に関係なく自分の考えや意見を言えています。練習中もはと、りす組関係なく、良いところ、改善した方がいいことを活発に声に出して伝えています。



でも、考えてみれば、2学期の親子運動会や展覧会を中心に大行事は常にはと、りす組いつも一緒に活動していましたから、むしろ、こんなことは当たり前に行っていることだったのです。

合同発表となりますので、例年より開催時間は短くはなりますが、密度の濃い生活発表会となることは間違いありません。当日は、大勢の皆様にご覧いただく子どもたちの集大成となる演技、演奏、歌声、そして、熱気を感じていただければと思います。緊張しながらも一生懸命に演技している子どもたちの姿に感動し、子どもたちの達成感、自己肯定感の向上が感じられる発表会にしたいと思います。



最後に、今年は新型コロナウイルス感染症よりインフルエンザの流行が懸念されています。本園でも予防のために手洗い、うがいを励行に努めています。ご家庭でも手洗い、うがいにご協力いただき、お休みのない3学期にしていきたいと思っています。